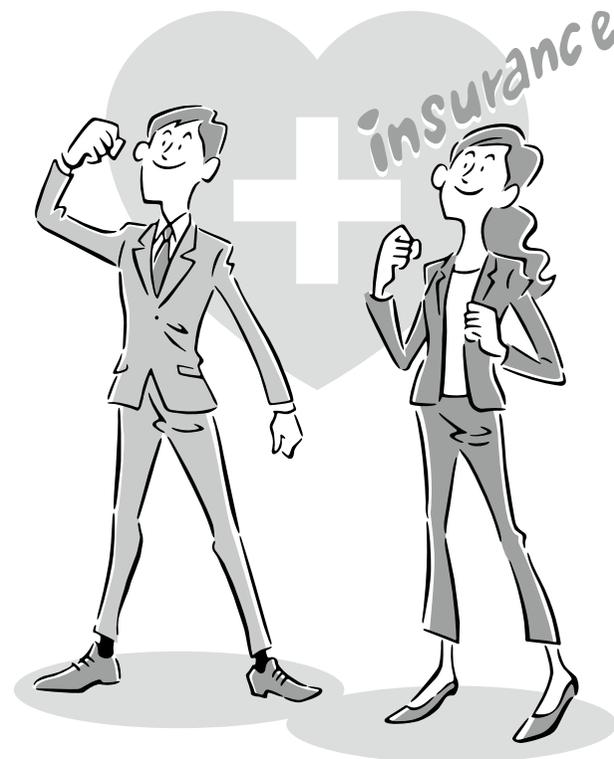


Q&Aで学ぶ

「保険税制」のキホンとお客様への説明ポイント

執筆●SOMPO ひまわり生命保険 金融機関推進部



年末調整が近づいてくると、生命保険に加入しているお客様の元には保険料控除証明書が届きます。本特別企画では、確定申告も関係してくる生命保険にかかる税制について、お客様からの質問や疑問に答えられるようにするための基礎知識とアドバイスのポイントを解説します。

※ 記載の内容は令和2年8月現在の税制となります。今後の税制改正により変更となる場合がありますのでご注意ください。

STEP 1

お客様への的確なアドバイスのために押さえておきたい！ 保険税制の重要性



元 号が令和になって2年目の2020年も、あつという間に年末が近づいてきましたね。「年末」と聞いて、皆さんは何を思い浮かべますか？

年末といえば、クリスマスや大掃除など様々なイベントごともありますが、働く人の多くにとっては、「年末調整」の時期でもあります。読者の皆さんの中にも、加入中の保険について生命保険会社から「生命保険料控除証明書」が届き、すでに対応してある——といった人も多いのではないのでしょうか。

そして、年が明けてお正月休みも束の間、2月中旬頃に入ると「確定申告」が始まります。マイ

ナンバーカードの普及が進み、インターネットで確定申告を行う人も年々増えてきているようです。しかし、確定申告は約1ヵ月という短い期間で行われることもあってか、「各地で税務署が大変混雑している」といったニュースも毎年のように耳にしますよね。

「年末調整」や「確定申告」。どちらもよく聞く言葉ではありますが、税制や手続きをきちんと理解している人もいるかと思いますが、「だれかに説明する」となると、少し難しい気がしませんか。

本特別企画では、この年末調整と確定申告の「保険に関わる部分」を解説していきたいと思えます。

「解約後」に関わる税務についても情報提供しよう！

ところで、昨今は新型コロナウイルスの感染拡大が世界的な問題となっています。新型コロナが生活に様々な影響を与えていることは周知の事実かとは思いますが、実は、この新型コロナの影響は保

険商品の契約にも及んでいます。例えば、「収入の減少を受けて手元資金を確保する必要性が生じた」といった理由で、貯蓄型保険の解約が進んでいる傾向があるようです。

ちなみに、貯蓄型保険を解約した場合には、多くの保険においてお客様は一時金（解約返戻金等）を受け取ることになります。

意外にも、「生命保険に加入するとき色々と話を聞いたが、解約時の細かい話まではしつかり聞いていない気がする」と言うお客様は多くいます。

前述のような貯蓄型保険の解約を検討するお客様に限らず、「一時金（解約返戻金等）」を受け取ったときの「税務」についても情報提供することができれば、きつとこれまで以上に喜んでもらえるはずです。

このような解約返戻金を受け取ったときの税務も含めて、次のページから「保険に関する税務」について一緒に確認していきましょう。